



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



令和8年5月25日
横浜市立上白根小学校
【6月号】



新たな1歩

校長 小嶋 一喜

昨年度50周年を迎えた本校は、今年度新たな50年の一歩を踏み出して、2か月が経とうとしています。5月30日に行われるスポーツフェスティバルでも、新たなことがいくつかありますので、改めてここで紹介します。

まず、演技です。5・6年生は、これまで旭区伝統の「飛翔」を行っていました。5年生のときに経験したことを6年生になって5年生に教えることでかかわり合いをつくってきました。今年度は、フラッグを使い、これまでの飛翔のときと同じように、動きをそろえることを目指しました。これは、5・6年生の子どもたちが、どんな演技をしたいかというアンケートをもとに決めた目標です。また、3部構成の演技の中で、3部は子どもたちの実行委員が動きを考え、みんなに伝えながら高めてきました。中学年も、低学年も一部の動きを演技実行委員が中心となって、実際に動きを見せながら全体に伝えていました。

次に、リレーです。本校は、低学年と高学年のリレーがあります。木曜日と金曜日をロング中休みにして、リレーに向けて取り組んでいます。校庭に出てみると、高学年の取り組む日に、低学年の子どもたちも、グラウンドの隅を使って、バトンパスの動きを高めていました。子どもたちが、自分たちでチームの仲間に進んで声をかけて、行っていました。

最後に、応援です。団長を決めるときに6年生の子どもたちが8名立候補しました。一人一人が、強い意気込みを6年生全員に伝えていました。本校は、子どもが自分の思いを表現することを大切にしています。団長を決めるとき言葉や表情にその成果が見られ、大変うれしく思いました。選ばれた二人は、選ばれなかった子どもたちの思いも背負い、各組を引っ張っています。選ばれなかった子どもたちも、太鼓や旗振りといった違う役割に強い意気込みを載せ替え、頑張っている姿が見られています。赤白の応援の中身も自分たちで選択をして行うので、同じ内容ではありません。

このように自分たちでつくっていくという新たな一歩がいたるところに表れています。当日、演技の中での子どもの表情、団長の姿、団長のもとまとまった子どもたちの姿などをご覧いただき、あたたかな声援、拍手を送ってくだされば幸いです。